

平成27年度（第56期） 総会資料

平成27年8月29日（土）

於： 千歳科学技術大学（千歳市）

第56期支部総会開催にあたって

支部長 菊地 慶仁（北海学園大学）

会員の皆様には、ご多忙の中、第56期支部総会にご出席いただき深く御礼申し上げます。また学会理事の岩部先生には、遠路ご参加頂き感謝申し上げます。

さて、支部活動の主役は、教育機関会員・学生会員・企業会員の三者であります。このため学術講演会においては、教育機関と学生との研究交流の場だけでなく、企業と学生、企業と教育機関、また学生会員相互が交流できる場となり、正会員のみならず学生にも企業の方々にも精密工学会入会の恩恵を感じてもらえるよう、支部講演会前日の企業見学会、全発表のポスタセッション化、CAD/CGモデリングコンテスト、および企業紹介のためのランチョンセミナーを今年度も実施いたしました。千歳科学技術大学の実行委員会の皆様方には、本学術講演会の趣旨をご理解いただき、完璧な準備と運営をいただき感謝しております。

講演会以外では、一般的な講演会の協賛・共催活動に加え、主に企業を対象とした有料講習会と支部学術講演会論文集のデジタル・アーカイブ化を推進しております。本支部講演会での優秀プレゼンテーション賞受賞者を候補とした全国大会参加への参加費補助、および支部学生奨励賞の贈賞事業も継続して行っております。2018年秋季に北海道で予定されております全国大会の開催候補地に関する情報収集も引き続き実施していく予定です。

これらの支部による企画・活動については、今後も皆様のご意見を取り入れ、より良いものに改善してゆく必要があります。本総会は、当支部活動の中心メンバである皆様にご参集いただける、年に一度の貴重な場となりますので、どうかご意見・ご助言・ご提案を積極的に頂けると幸いです。

資料内容

1. 支部会員数	……………	P.2
2. 支部役職	……………	P.2
支部幹事会／支部商議員会／支部選出委員		
3. 支部会計報告	……………	P.4
第55期収支決算概要／第56期収支予算概要		
4. 支部活動報告	……………	P.5
第55期・56期 会議、講演会、表彰事業、その他		
5. 参考資料	……………	P.9
全国大会記録／支部講演会記録／歴代支部長		
6. その他	……………	P.11
2018年秋季全国大会開催地の調査活動		

第 55 期後期（2014/9 - 2015/1）／第 56 期前期（2015/2 - 2015/8）活動報告

1. 支部会員数

会員数：137名（正会員：101名，学生会員：36名）* フェロー，名誉会員を含む

	2012/1	2013/7	2014/7	2015/1	2015/7
総会員数	165	160	144	152	137
正会員*	107	110	104	101	101
学生会員(web)	58(48)	50(41)	40(35)	51(46)	36(33)

支部所属名誉会員（6名） 五十嵐 悟，池田 正幸，北川 武揚，

斎藤 勝政，勇田 敏夫，棟 徹夫（敬称略）

支部所属フェロー（3名） 嘉数 侑昇，岸浪 建史，田牧 純一（敬称略）

補足説明：2015/7 の総会員数は昨年同時期と比較すると7人減（正会員 -3，学生会員 -4）。

2. 支部役職

2.1 支部幹事会

	第 55 期（2014/2-2015/1）	第 56 期（2015/2-2016/1）
支部長	吉村 斎（苫小牧高専）	菊地 慶仁（北海学園大） （学生奨励賞審査委員長）
副支部長	菊地 慶仁（北海学園大） （技術賞・支部活性化貢献賞 審査委員長）	山田 誠（函館高専） （技術賞・支部活性化貢献賞 審査委員長）
庶務幹事	三谷篤史（札幌市立大）	高氏 秀則（北海学園大）
会計幹事	川上 敬（北海道科学大） （情報化推進・Web 副担当）	本田 匠（釧路高専） （情報化推進・Web 副担当）
幹事	伊達宏昭（北大） （情報化推進・Web 担当）	小田 尚樹（千歳科技大） （支部講演会担当）
幹事	見藤 歩（苫小牧高専） （CAD/CG コンテスト審査委員長）	川上 敬（北海道科学大） （情報化推進・Web 担当）
幹事	鈴木 育男（北見工大） （BP 賞審査委員長）	久保 明彦（北見工大） （BP 賞審査委員長）
幹事		後藤 孝行（旭川高専） （CAD/CG コンテスト審査委員長）
監事	金井 理（北大）	古川 正志（北海道情報大）
監事	古川 正志（北海道情報大）	吉村 斎（苫小牧高専）

2.2 商議員会

氏名	所属	第55期	第56期
石田 崇	株式会社テクノフェイス	○	○
奥野 拓	公立ほこだて未来大学	○	○
小野里 雅彦	北海道大学	○	○
小田 尚樹	千歳科学技術大学	○	○
金井 理	北海道大学	○	○
川上 敬	北海道科学大学	○	○
菊地 慶仁	北海学園大学	○	○
久保 明彦	北見工業大学	○	○
後藤 孝行	旭川工業高等専門学校	○	○
近藤 司	函館工業高等専門学校		○
鈴木 育男	北見工業大学	○	○
高氏 秀則	北海学園大学	○	○
高佐 成樹	株式会社日本製鋼所室蘭製作所	○	
多田 達実	北海道立総合研究機構	○	○
田中 文基	北海道大学		○
伊達 宏昭	北海道大学	○	
古川 正志	北海道情報大学	○	○
本田 匠	釧路工業高等専門学校	○	○
三谷 篤史	札幌市立大学	○	○
三井 聡	旭川工業高等専門学校		○
見藤 歩	苫小牧工業高等専門学校	○	
宿村 孝博	株式会社日本製鋼所室蘭製作所		○
山田 誠	函館工業高等専門学校	○	○
吉村 斎	苫小牧工業高等専門学校	○	○
		20名	21名

2.3 支部選出委員

理事（1名）：	古川 正志（北海道情報大学）	2015年度
代議員（3名）：	田中 文基（北海道大学）	2015年度
	多田 達実（北海道立総合研究機構）	2015年度
	渡辺 美知子（北見工業大学）	2015年度
広報委員	三谷 篤史（札幌市立大学）	2015.4 - 2017.3（任期2年）
校閲委員会委員	寺本 孝司（室蘭工業大学）	2015.4 - 2018.3（任期3年）
編集委員	鈴木 育男（北見工業大学）	2015年度
補足説明：	2015年度中に2016年度の新理事および代議員の改選実施予定	

3. 支部会計報告

3.1 2014 年度（第 55 期 2014/2 - 2015/1）収支決算（概要）

収 入		支 出	
支部活動費（本部より）	649,000	学術講演会事業支出	698,565
学術講演会事業収入	689,000	学生派遣事業費	300,000
補助金等収入	100,000	旅費・交通費	228,240
雑収入	308	共催・協賛等事業費	237,788
		その他支出	98,434
		本部一般会計に預け入れ	300,000
当期収入合計(A)	1,438,308	当期支出合計(C)	1,863,027
前期繰越収支差額	1,306,122	当期収支差額(A-C)	▲424,719
収入合計	2,744,430	次期繰越収支差額	881,403

その他，本部会計預け入れ金の総額が 2015/1/31 現在で 2,300,000 円

3.2 2015 年度（第 56 期 2015/2 - 2016/1）収支予算（概要）

収 入		支 出	
支部活動費（本部より）	649,000	学術講演会事業支出	1,003,000
学術講演会事業収入	850,000	学生派遣事業費	300,000
補助金等収入	0	旅費・交通費	200,000
雑収入	1,000	共催・協賛等事業費	168,168
		その他支出	250,540
		本部一般会計に預け入れ	100,000
当期収入合計(A)	1,500,000	当期支出合計(C)	2,021,708
前期繰越収支差額	881,403	当期収支差額(A-C)	▲521,708
収入合計	2,381,403	次期繰越収支差額	359,695

補足説明：学会提出の予算書においては「学術講演会事業支出」という区分で明示的に予算計上されておらず，ここでは学術講演会での支出と想定されるものを合計して計上している．また会計上，剰余金（繰越金）の圧縮が求められているため，単年度では約 52 万円の赤字の収支計画が策定されている．

4. 支部活動報告

4.1 第55期(2014/2 - 2015/1) 支部活動報告

会議

- 年次総会：2014年8月30日(札幌市立大学 芸術の森キャンパス) 事業報告・事業計画
- 商議員会(3回)
 1. 2014年2月17日(札幌市立大学 サテライトキャンパス) 役員選出, 事業計画の承認
 2. 2014年8月30日(札幌市立大学 芸術の森キャンパス) 北海道外の賛助会員の取扱いについて, 各賞の審議・決定
 3. 2014年12月2日(札幌市立大学 サテライトキャンパス) 第56期事業計画等
- 幹事会(3回)
 1. 2014年5月31日(札幌市立大学 芸術の森キャンパス) 支部講演会準備
 2. 2014年8月5日(Skype会議) 支部講演会打ち合わせ
 3. 2014年10月30日(Skype会議) 次年度事業計画, 商議員会選挙の準備

講演会・シンポジウム等

- 2014年度支部学術講演会：2014年8月30日(札幌市立大学 芸術の森キャンパス)
講演件数：51件, CGコンテスト：14件
特別講演会：
講師：諸貫 信行 氏 (精密工学会副会長, 首都大学東京 教授)
題目：『精密工学の今後に関する一考察』
懇親会：札幌市立大学 芸術の森キャンパス クローバーホール
施設見学会：シンセメック株式会社エンジニアリングセンター(8月29日)
- 共催・協賛事業(10件：主催1件, 協賛講演会2件, 協賛事業5件, 後援事業2件)
主催講習会(1件)
 1. 地場密着型 有料講習会 『食品加工用刃物の設計と評価技術』
北海道大学学術交流会館 第3会議室, 10月24日, 24名協賛講演会(2件)
 2. 技術講演会：檜原 弘之／3Dプリンタの最新技術動向と将来
北海道大学情報科学研究科棟A-21, 8月18日, 15名
 3. 技術講演会：高谷 裕浩／マイクロな世界の3次元計測と制御
北海道大学情報科学研究科棟A-24, 11月28日, 28名協賛事業(5件)
 4. 第13回複雑系マイクロシンポジウム
苫小牧市民活動センター1階多目的ホール, 3月1日, 48名
 5. 第46回計測自動制御学会 北海道支部学術講演会
北海道大学工学部アカデミックラウンジ, 3月9-10日, 60名
 6. 北海道エージェントスケジューリングプロジェクト講演会
北海道情報大学 サテライトキャンパス, 8月6日, 20名

7. 大規模環境の3次元計測と認識・モデル化技術集中講演会
北海道大学情報科学研究科棟A-21, 8月7-8日, 76名
8. 第14回ロボット・トライアスロン, 札幌市青少年科学館, 9月14日, 90名
後援事業 (2件)
9. 第4回 産学官C I M・G I Sセミナー
札幌市教育文化会館 3 F 305研修室, 11月13日, 150名
10. 2014ものづくり技術セミナー, 京王プラザホテル札幌, 11月18日, 60名

表彰事業

• 支部活性化貢献賞 (1名)

古川 正志 氏 (北海道情報大学 教授)

• 優秀プレゼンテーション賞 (6名)

1. 峯後 俊秀 (旭川工業高等専門学校) 『画像のヒストグラム表現を用いた昆虫の種類判別』
2. 木下 大輔 (苫小牧工業高等専門学校) 『組込みシステム入門者向け教育システムの構築』
3. 畠山 龍 (北海道大学) 『デプスカメラを用いた屋内自己位置推定におけるGPU 並列処理の有用性評価』
4. 杉山 聖貴 (信州大学) 『クラウド環境での進化計算用グリッドシステムの並列化効率評価』
5. 千田 祐太郎 (旭川工業高等専門学校) 『MAS概念に基づく運動学計算法による超冗長アームの制御』
6. 村井 彩音 (札幌市立大学) 『幾何学的錯視図形の線分の長さ判断における方略観察の効果』

• 技術賞 (2件)

1. 青野 文朗, 高佐 成樹, 須藤 英一, 宿村 孝博, 今村 祐輔, 片山 真登 (日本製鋼所室蘭製作所) 『複合立旋盤による大型製品の効率的な加工に関する研究』
2. 山野 孝則, 吉野 哲, 熊谷 徹 (HBA), 岡崎 哲夫, 川上 敬 (北海道科学大学), 山口 太一 (酪農学園大学), 高橋 裕之 (北海道総合研究機構) 『運動機能の測定・管理システムの開発』

• CAD/CG モデリングコンテスト表彰 (5件)

最優秀賞 (1件)

1. 白倉 励 (函館工業高等専門学校) 『テオヤンセン機構ロボット』 (メカニカル部門)

優秀賞 (4件)

2. 藪 静流 (苫小牧工業高等専門学校) 『前二輪型自転車「ML WORKS」』 (リアリティ部門)
3. 堀川 洋平 (苫小牧工業高等専門学校) 『卓上扇風機「素 -Su-」』 (リアリティ部門)
4. 佐々木 啓伍 (旭川工業高等専門学校) 『iModela (iM-01)』 (アニメーション部門)
5. 浦本 昂志 (札幌市立大学) 『SH903iTV』 (リアリティ部門)

• 学生奨励賞 (15名)

道内で正会員2名以上在籍の学科等から学業優秀学生を表彰。会員資格は問わない。

1. 對馬 修宇 (北見工業大学工学部)
2. 河石 良太郎 (北見工業大学 大学院工学研究科)
3. 前濱 宏樹 (北海道大学 大学院情報科学研究科)
4. 利根川 凜 (北海道大学 工学部)

5. 塩濱 教幸 (北海学園大学大学院工学研究科)
6. 橋本 航平 (函館工業高等専門学校)
7. 宮崎 真吾 (苫小牧工業高等専門学校専攻科)
8. 野村 祥吾 (室蘭工業大学工学部)
9. 岡崎 翔大 (室蘭工業大学 大学院工学研究科)
10. 栃木 優太 (札幌市立大学 デザイン学部)
11. 荒川 祐真 (公立はこだて未来大学)
12. 堀 優作 (旭川工業高等専門学校 専攻科)
13. 松本 泰明 (北海道工業大学 大学院工学研究科)
14. 釜野 幹康 (釧路工業高等専門学校)
15. 大北 竜平 (北海道大学大学院工学研究科)

• **その他**

春季大会への学生派遣支援事業 (6名, 2015年3月)

2014年度支部学術講演会において優秀プレゼンテーション賞を受賞した6名に春季大会参加の旅費支援を行った。

4.2 第56期 (2015/2 - 2016/1) 支部活動計画ならびに中間報告

会議

- **年次総会 (第56期)** : 2015年8月29日 (千歳科学技術大学) 事業報告・事業計画, 他
- **商議員会 (3回)**
 1. 2015年2月27日 (札幌市立大学 サテライトキャンパス) 役員選出, 事業計画の承認
 2. 2015年8月29日 (千歳科学技術大学) 各賞申合せ, 各賞の審議・決定
 3. 2015年11月 (予定) 第57期事業計画等
- **幹事会 (2回)**
 1. 2015年8月5日 (千歳科学技術大学) 支部講演会準備状況確認
 2. 2015年10月 (予定) 次年度事業計画, 商議員会選挙の準備

講演会・シンポジウム等

- **2015年度支部学術講演会** : 2015年8月29日 (千歳科学技術大学)
 - 講演件数 : 54件 (昨年よりΔ3), 技術賞 : 2件 (0), CGコンテスト : 9件 (▲4)
 - ランチョンセミナー (企業紹介セミナー) : 4社
 - (株式会社A I S北海道, 株式会社ミットヨ, 株式会社ダイナックス,
フォトニックサイエンステクノロジー株式会社)
 - 特別講演会 :
 - 講師 : 川瀬 正明 氏 (千歳科学技術大学 学長)
 - 題目 : 『最近の通信事情と光ファイバ通信』
 - 懇親会 : ビア・ワークス・ちとせ (千歳市)
 - 施設見学会 : 株式会社ダイナックス 苫小牧工場, Jファーム苫小牧株式会社 (2015年8月28日)

• 共催・協賛事業（開催済み 5 件，予定 2 件）

1. 事業協賛：第14回複雑系マイクロシンポジウム，北海道科学大学，3月2日，45名
2. 講演会協賛：産学官CIM・GIS特別セミナー，北海道大学，3月2日，28名
3. 講演会共催：宮本 敦／半導体産業における画像応用検査・計測技術，北海道大学，6月17日，40名
4. 講演会協賛：大規模環境の3次元計測と認識・モデル化技術 講演会，北海道大学，7月27-28日，77名
5. 事業協賛：ロボット競技会（WRO札幌大会2015），北海道ロボット教育推進協議会，札幌市立大学COCキャンパス，8月16日，90名
6. 事業協賛（予定）：第15回ロボット・トライアスロン札幌大会，北海道大学，9月13日
7. 講演会協賛（予定）：積山 彰／人助けの技術創造，日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス部門特別講演会，札幌市立大学サテライトキャンパス，9月25日

表彰事業

• 学生奨励賞（13名）

1. 島倉 渉（北見工業大学 機械工学科専攻）
2. 岩見 俊幸（北海道大学 情報科学研究科システム情報科学専攻）
3. 玉家 武博（北海道大学 工学部 情報エレクトロニクス学科）
4. 甲地 司忠（北海道情報大学 経営情報学部 システム情報学科）
5. 上山 凌（北海学園大学 工学部 電子情報工学科）
6. 阿部 翔太（函館工業高等専門学校 機械工学科）
7. 麻野 将平（苫小牧工業高等専門学校 電子・生産システム工学専攻）
8. 本間 裕章（室蘭工業大学 工学部 機械航空創造系学科）
9. 大郷 友海（札幌市立大学 デザイン学部 デザイン学科）
10. 橋本 光太郎（旭川工業高等専門学校 生産システム工学専攻）
11. 泉 仁斗（北海道科学大学 工学研究科 情報工学専攻）
12. 吉田 健太（釧路工業高等専門学校 電気工学科）
13. 片山 斗史哉（千歳科学技術大学 総合光科学部 光システム学科）

5. 参考資料

5.1 全国大会開催記録

年度	開催地	月日	実行委員長	講演件数
1964	北海道大学	10月1日(木)-2日(金)	星光一	80
1970	ホテル万世閣(洞爺湖)	10月6日(火)-8日(木)	星光一	225
1980	北海道大学	9月28日(日)-30日(火)	佐藤 敏一	316
1990	北海道大学	9月27日(木)-30日(日)	斎藤 勝政	637
1998	北海道大学	9月22日(火)-29日(金)	五十嵐 悟	606
2007	旭川市市民ホール他	9月12日(水)-14日(金)	古川 正志	499
2018	(未定)			

5.2 支部講演会開催記録 (2000～)

年度	開催校	月日	実行委員長	講演件数
2000	旭川高専	9月9日(土)	古川 正志	57
2001	釧路高専	9月1日(土)	荒井 誠	51
2002	札幌学院大学	8月31日(土)	皆川 雅章	41
2003	室蘭工業大学	9月6日(土)	横内 弘宇	50
2004	函館高専	9月4日(土)	浜 克己	60
2005	北見工業大学	9月3日(土)	二俣 正美	53
2006	北海学園大学	9月2日(土)	深谷 健一	46
2007	苫小牧高専	8月25日(土)	中津 正志	42
2008	旭川高専	9月6日(土)	今野 廣	55
2009	釧路高専	9月5日(土)・6日(日)	荒井 誠	44
2010	北海道工業大学	9月4日(土)	木下 正博	43
2011	公立ほこだて未来大学	9月3日(土)	奥野 拓	46
2012	室蘭工業大学	9月1日(土)	寺本 孝司	52
2013	北見工業大学	8月31日(土)	田牧 純一	63
2014	札幌市立大学	8月30日(土)	城間 祥之	51
2015	千歳科学技術大学	8月29日(土)	小田 尚樹	54

5.3 歴代支部長

期	西暦	支部長名	期	西暦	支部長名
1-10	1960-1969	星 光一	11-16	1970-1975	佐藤 敏一
17-18	1976-1977	沖野 教郎	19-20	1978-1979	斎藤 勝政
21	1980	三浦 良一	22-23	1981-1982	菊地 千之
24-25	1983-1984	棟 徹夫	26-27	1985-1986	佐藤 寿夫
28-29	1987-1988	斎藤 勝政	30-31	1989-1990	大津 保雄
32-33	1991-1992	北川 武揚	34	1993	勇田 敏夫
35	1994	池田 正幸	36	1995	西田 公至
37	1996	嘉数 侑昇	38	1997	岸浪 建史
39	1998	野村 英雄	40	1999	五十嵐 悟
41	2000	二俣 正美	42	2001	井上 一郎
43	2002	岡田 亜紀良	44	2003	田頭 孝介
45	2004	三田村 好矩	46	2005	田牧 純一
47	2006	深谷 健一	48	2007	古川 正志
49	2008	金子 俊一	50-51	2009-2010	荒井 誠
52-53	2011-2012	小野里 雅彦	54	2013	金井 理
55	2014	吉村 斎	56	2015	菊地 慶仁

6.その他

2018年秋季全国大会開催地の調査活動

2015.8.29

JSPE 北海道支部 2018 全国大会調査 TF

2018年（平成30年）精密工学会学術講演会秋季大会 北海道地区での開催に向けた開催地検討状況について（平成27年8月現在）

1. これまでの経緯（昨年報告済）

- ・2018年度の開催地として函館市を第一候補として検討.
- ・全国大会開催に向けた調査タスクフォースの組織（第54期（2013年度））
小野里雅彦 北海道大学
山田 誠 函館工業高等専門学校
奥野 拓 公立はこだて未来大学
- ・過去（2007-2013）の秋季大会に関する情報収集（セッション数，聴講者数）
- ・会場候補地のリストアップ
A: 函館工業高等専門学校
B: 函館大学
C: 函館アリーナ（建設中）

2. 函館アリーナ会場視察報告

日時： 平成27年7月31日（金）13:30～15:30（開業前日 開館準備中）

視察者： 山田 誠（函館高専），小野里 雅彦（北大）

応対者： 岩下 幸司（函館市コンベンション推進課）

視察対象： 函館アリーナ全館，市民会館会議室

<http://sports-hakodate.jp/hakodatearena/>



図1 施設配置図

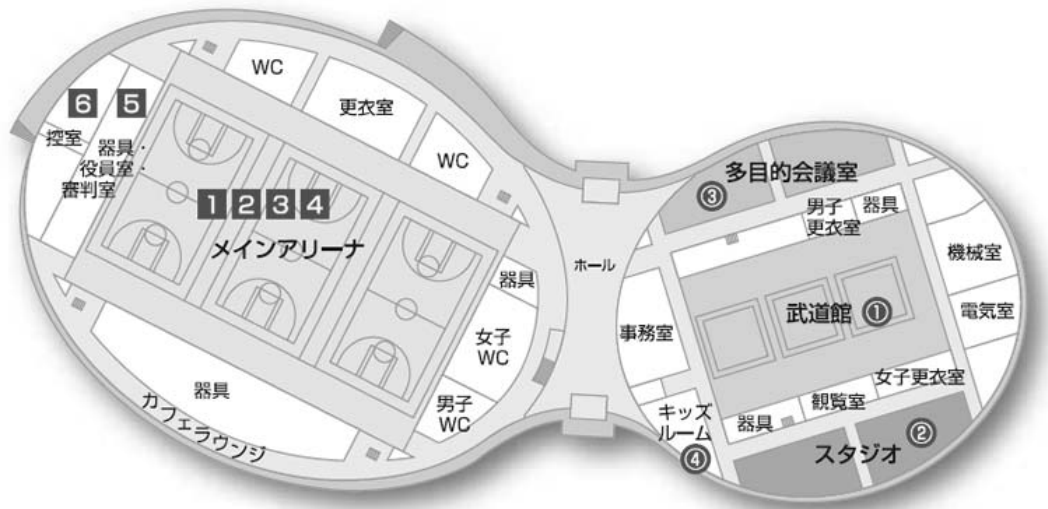


図2 函館アリーナ フロア図 (1F)

【函館アリーナ】

1. メインアリーナ，サブアリーナは「体育館」であり，分割使用には向いていない。
2. 武道場は3分割して講演室として使用可能（3室）
3. スタジオ2室はそれぞれ2分割して講演室として使用可能（4室）
4. 多目的室2室もそれぞれ2分割して講演室として使用可能（4室）
5. 控室2室はVIP等対応，小会議に使用可能
6. 役員室・審判室は事務局・小会議等で使用可能

【市民会館】

1. 大ホールは特別講演，総会を実施できる（1，370名）
2. 大会議室は3分割で講演室として使用可能（3室）
3. 小会議室1は応接セットの置き場を考えれば講演室に使用可能（1室）
4. 小会議室2は講演室に使用可能（1室）
5. 市民会館は近く耐震補強のための調査と工事が入る予定．2018年には終了している予定だが，調査結果や工事の内容によっては使用できない事態もありうる。

以上，2施設を併せて現状では講演室として使用可能と想定される部屋数は

函館アリーナ 11室，市民会館 5室

会場概算費：100～150万円

（その他：市民会館の小ホールと展示室も使用可能） 函館アリーナから歩いて5分ほどの湯の川温泉「花びしホテル」内に講演で使える会議室が数室あり。

3. 2018 全国大会調査 TF の意見

立地，設備，アクセス性などの面から函館アリーナ開催を第一候補として実施可能性をより詳しく検討することを提案する．特に，アリーナの施設を生かしたポスターセッションの導入など，本部と意見交換をしながら大会実施形態を詰めていく必要がある。